



ハヤブサ

2022. 4. 15

ニュース No.71

絶滅危惧種
京丹後のハヤブサ

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則
電話&FAX 075-467-4437

郵便振込口座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

米軍Xバンドレーダー基地反対 京都連絡会【第8回総会】案内

4月23日(土)13:30~16:30

京都府部落解放センター4F ホール

4/23 京都連絡会総会にご参加を！

米軍 X バンドレーダー基地反対・京都連絡会は、きたる 4 月 23 日に、第 8 回総会を開催します。

当初は例年の通り 2 月初旬の開催予定でしたが、コロナ禍の影響を受け、二カ月半ほど遅れての開催になります。そのあいだにロシア・プーチン政権によるウクライナ侵攻が始まるなど、国際情勢は大きく変化しました。

また、3 月の韓国大統領選挙では、対共和国政策の転換や韓米同盟の強化を主張する尹錫悦(ユン・ソギョル)氏が当選しました。

これらは、東アジア・朝鮮半島をめぐる軍事緊張の激化、日米安保体制の強化、そこにおける京丹後の米軍 X バンドレーダー基地の役割の強化をもたらそうとしています。

それゆえ、私たちのたたかいはいっそう重要性を増しています。基地の撤去をめざし、運動を前進させていくことがますます切実に求められています。ウクライナでの事態を利用して、排外主義を煽りつつ、日米安保の強化と自衛隊の「敵基地攻撃能力」の保有など戦争体制づくりを進めようとする岸田政権と対決し、反戦・反基地・反安保のたたかいを共に発展させていきたいと思ひます。

京丹後の米軍 X バンドレーダー基地は、昨年 5 月の二期工事の完了と今年 1 月の米軍人の基地内の隊舎への入居によって、新しい段階に入りました。低周波騒音による被害や

新型コロナ感染に関わる問題など、住民の「安全・安心」を脅かす事態は続いています。同時に、日米の「ミサイル防衛」(MD)網の一部である京丹後の米軍 X バンドレーダー基地の強化・要塞化は、東アジアの人々にいっそう大きな脅威・軍事的圧迫を与えることとなります。その双方をなくすために、基地撤去・安保反対のたたかいを前進させていきましょう。

この一年間の活動を振り返り総括し、情勢変化と日本政府・岸田政権による攻撃の大きさに対応した、たたかいの大きな前進を勝ち取っていききたいと思ひます。

4 月 23 日の京都連絡会第 8 回総会にぜひご参加ください。

4～5月の京丹後訪問のご案内

4月27日(水) 5月20日(金) 5月31日(火)

集合・鴨川五条大橋西詰のガソリンスタンド前
出発・午前8時30分、

* 配車の関係で参加予定の方は事前にご連絡を
池田 090-7108-5508)



ウクライナ戦争でレーダーや基地が攻撃の第一の標的となるなかで、京丹後の米軍 X バンドレーダー基地周辺の住民からも、戦争の際に基地が攻撃の対象になることへの不安の声が上がっています。だから、戦争の被害

者にも加害者にもならないために、基地をなくして平和に生きられる社会をつくろうと訴えていきたいと思えます。

前回の京丹後訪問の際には宇川のアクティブハウスで開かれていた「金曜日」を覗いてきました。地元の人が野菜や総菜、小物などを持ち寄っています。宇川を研究フィールドにしている龍谷大学の今里ゼミの学生さんがレジや受付など運営に関わっていて、華やいだ雰囲気でした。

また、今回は久しぶりに米軍属の集合住宅がある島津地区でビラ配りを行いました。

「ごくろうさま」と声をかけてくれる人が多く、以前とは少しまた雰囲気が変わってきた気がします。

「街なかビラ」の報告と 今後のお知らせ

3月の報告

第133回 3月17日(木) 堀川三条商店街5人

この日は、くもり空でしたが雨は降らずヤレヤレ。「こんな所に米軍基地があるの?」と言う人がまだまだあります。

- 京商連として現地の話は聞いている。他の団体でもビラ配りをされて嬉しく女>
- 戦争は絶対にアカン! <女>
- 家でゆっくりと読ませて貰います<女>
- ごくろうさん! <高齢・男>



今後の予定

第134回 4月15日(金) 百万遍 終了しました。

<報告はハヤブサ 5月号になります。>

第135回 4月29日(休) JR「二条駅」周辺
集合場所: JR「二条」駅西口です。

時間はいずれも 11:00 ~ 12:00 です
ご都合の付く方は、集合場所にお集まりください
連絡先: 090 - 5672 - 1597 (白井)

まだまだコロナの緊張感は必要です。無理のないご参加をお願いします。

関生弾圧を許さず、 裁判闘争に勝利しよう!

藤原敏秀

1. 滋賀県警による新たな弾圧策動を許さない! 警察・検察の労働組合つぶしを許さない!

4月10日、「22春闘まだまだ本番!
警察・検察は労働組合つぶしをするな!

4・10滋賀集会」が、琵琶湖畔のなぎさの公園で開催され、約150人が参加し、集会とデモが行われた。

これは、連帯ユニオンの「近江アサノ」での組合宣伝活動に対して、滋賀県警が登場し、“証人威圧”を口実として、介入してきていることに対する抗議として行われた。

また、1月17日、大津地裁の公判で、検察官による不当な労働組合脱退勧奨が明らかになったが、こうした警察・検察の国家的不当労働行為・労働組合つぶしを糾弾するものとしても行われた。デモは、滋賀県警本部、大津警察署の前を通るコースで行われた。

2. 戦争への道は、闘う労働組合つぶしから 地裁前宣伝、集中アピール行動に

京都地裁では、「京都3事件」の公判。
大津地裁では「コンプライアンス」と「ビラまき弾圧」の公判。

公判毎に大津地裁は8時から、京都地裁は8時30分から宣伝行動が行われている。

また、4月18日(月)~26日(火)(土日を除く)、12時~13時の1時間、大津地裁前での集中アピール行動が予定されている。

可能であれば、1日でも構いません。ぜひご参加ください。

*4月~5月 公判日程、大津集中アピール

4月18日(月)~26日(火) 大津集中アピール

4月25日(月) 10時~ 大津・ビラまき

4月26日(火) 13時過ぎ大津・コンプラ

4月28日(木) 10時~ 京都・3事件

5月23日(月) 10時~ 大津・ビラまき

5月30日(月) 10時~ 大津・コンプラ

万国の労働者団結せよ! 生きるために声をあげよう!つなごう! 第32回京都地域メーデー

5月1日(日) 午前10時から、円山野外音楽堂

集会後、デモ

主催 同メーデー実行委

4.28屈辱の日 特別企画上映会 友の碑 白梅学徒の沖縄戦 & 林 雅行監督トーク

4月28日(木)18:20開場 18:30上映開始

ひとまち交流館 京都 第四会議室

参加資料代 500.-

主催 No Base !沖縄とつながる京都の会

連絡先 090-2359-9278 松本



ひめゆり学徒隊は
沖縄県立第一高等女
学校と沖縄県師範学
校女子部で組織され
た学徒看護隊。
両校生徒 222 名
引率教師 18 名

学校跡に建つ「白梅の乙女たち」像(那覇市、松山公園)

「白梅」は沖縄県立第二高等女学校の記章

白梅学徒隊は、沖縄
県立第二高等女学校
の四年生 46 名。
八重瀬岳中腹にあった
第 24 師団第 1 野戦病
院に配属された。



白梅の塔(糸満市真栄里)

1952 年 4 月 28 日、サンフランシスコ講和条約発効により日本は占領下から独立しましたが、奄美や沖縄は切り捨てられ、この日は「屈辱の日」となりました。しかしこの日は『日米安保条約』の発効の日でもありました。「反共の砦」「不沈空母」としてアメリカの戦争に追随することで「繁栄」の分け前にあずかってきた本土の私たちにとっても、この日は「屈辱の日」ではないのでしょうか?

本年 2 月 24 日に始まったロシアのウクライナ侵略を「奇貨」とするかのように「敵基地攻撃能力」「核共有」「台湾有事」等が主張され、中国を仮想敵国とした日米軍事同盟の強化が図られようとしています。その最前線となるのが沖縄であり「南西諸島」です。

かつて「捨て石」とされ多大な犠牲を強いられ、戦後も基地被害を押し付けられた沖縄がまた「捨て石」とされようとしています。白梅学徒の沖縄戦を振り返りながら、「屈辱の日」と日米安保について共に考えたいと思います。是非ご参加ください。

※ No-Base ! 沖縄とつながる京都の会 4 月例会に替わる企画です 文責 増野

米軍Xバンドレーダー基地反対京都連絡会は、
4月例会を振り替えこの企画に賛同し参加します。

「京都連絡会」連絡先 池田 090-7108-5508)

呼びかけ 米軍Xバンドレーダー基地反対京都連絡会

4.2 反戦デモ報告 (文責:瀧川)

ロシアのウクライナ侵攻弾劾!

ロシアは即時撤退を! NATOの介入、東方拡大反対!
岸田政権は軍拡・戦争体制づくりに利用するな!

4・2 反戦デモ

~ロシア、ウクライナの人々の反戦行動に連帯しよう~

2月24日プーチンのロシア軍がウクライナに侵攻を始めた。核を持つ大国ロシアがいかなる理由があるにせよ軍事侵攻を始め



たことに世界では一種の驚きと同時に「許すことはできない」と反戦の意志を表すスタンディングやデモが始まりました。

私たちは、ロシアの侵略行為に反対する行動に参加しつつ、事態の進行につれ、反対行動には賛同しても一連の反対行動に違和感を覚えるようになった。それは、かつてのアフغانستانやイラク戦争反対の行動ではなかった違和感であった。

ウクライナの国旗を掲げて「ウクライナに平和を!」と叫ぶこと、戦争の片方の当事国の指導者を国会に呼んで演説させること、演説が終わると全ての国会議員がスタンディングオベーションで拍手を送ることが目に障り、鼻につきました。

戦争に反対する行動を否定するものではないが、戦争反対の行動をすることが、一方の戦争推進者に加担することになるのではないかという危惧である。労働者・市民の反戦闘争が排外主義に刈り取られてはなりません。

この戦争がどのような戦争で、私たちの戦争反対の運動をどのようなものにするのか、明確にする必要を強く意識するようになりました。

日米安保体制の下、東アジアの日米ミサイル防衛を担う米軍Xバンドレーダー基地に反対して闘っている私たちは、京都の有意の人々に呼びかけ、3月30日にいかなる反戦行動を行うのかを議論しました。その結果が、4.2反戦デモの名称やシュプレヒコールに結実しました。

4月2日の反戦デモは、準備期間も短く、十分な結集ができたとは言い難いですが、50名強の方々の参加を得て、集会名称に即したシュプレヒコールを終始力強く上げて終わることができました。

この意思一致をもって次回の大きなデモにつなげていきましょう。

ウクライナと沖縄

反戦平和の闘いは、それぞれ自国政府の戦争政策と闘うことです。

沖縄の今

大湾宗則

はじめに・・・ロシアのウクライナ侵攻の惨劇に抗議し、ロシア軍の即時撤退を求めます。

また、米国はじめ NATO の軍事介入に反対しウクライナの NATO 加盟を認めないよう求めます。日本政府の戦争加担に反対します。

ウクライナの「愛国的・祖国防衛戦争」がもてはやされ、ウクライナ国旗(青と黄)を掲げて支援する排外主義に与してはなりません。

反戦平和の闘いは、自国政府の戦争加担を許さず、戦争政策を阻止する闘いに集中することでなければなりません。

沖縄のコロナ禍の新規感染者数は、4/13 で1656人、人口比で東京の1.5倍、全国ワーストで沖縄経済はがけっぷちにある(4/13 米軍関係者は53人)。こんな経済社会状態の下で今、沖縄で進んでいる日本政府の戦争政策を列挙すれば次の通りです。

- ① 既に4/1付で「思いやり予算」は執行され、これまでの光熱水道費等の補助を減額する代わりに日米共同作戦費を増額して中国・朝鮮を仮想敵として東アジア中心に訓練を続けている。
- ② 軍拡としては辺野古新基地建設のほか、南西諸島への自衛隊ミサイル部隊配備が進められ、再び沖縄の戦場化が図られている。
- ③ 「重要土地規制法」は4/1から一部施行が始まっている。重要施設(基地、原発など)周辺1kmの防衛省・警察による監視・管理など治安活動が強化されている。
- ④ 日米地位協定の施設提供区域外で協定に違反して夜間を含む無法な訓練。
- ⑤ 米軍機の低空飛行とホバリング、日米両兵士の降下訓練による都市型民衆闘争鎮圧訓練。
- ⑥ 「日本の安全保障に資する」条件付きで、自由使用度の高い一括交付金を大幅に減額されて「沖縄振興基本方針」が確定した。辺野古新基地建設反対は明らかに「安保に資する」に反する、ということで今後見直しの脅しがある。

思いやり予算も重要土地規制法も沖縄振興基本方針その他についても反対行動を組織できず看過したことは残念です。この痛みを忘れないようにしましょう。

- ⑦ 辺野古埋め立て問題では、県知事の辺野古埋め立て不承認を「軟弱地盤」も「活断層」も無視して国交相が取り消した。
- ⑧ 「辺野古の埋め立ては203万㎡に達し、全埋め立て2020万㎡の10%を超えた、更に着実に進める」と岸防衛相は言い放っている。この陰でサンゴ群は環境に通じていない業者によってセメダインで接

着移植され、多くは死滅している。朗報は、ジュゴンはまだ生きている。宮古・池間島などに食み跡が見つかる。

⑨ 有機フッ素化合物(PFOS、PFAS)が米軍基地周辺の河川、土地、井戸、水道水から高濃度で検出。命の水が戦後77年間、「毒水」となって沖縄の人々の体を犯している。4/10 宜野湾市民会館で450人の結集で県民集會がもたれ反撃が始まっている。⑩ 南西諸島への自衛隊配備に反対して新たに「命どう宝の会」を山城博治さんから立ち上げ反撃が開始されている。この他、事件事故、爆音、部品落下、埋立てに遺骨混じりの土砂使用等許せないことばかりです。

5/15「沖縄の日本復帰50年」…知事・天皇・政府同席反対!… 政府による戦争準備行為が多面的に進められている現在、辺野古新基地建設阻止・基地のない平和な沖縄を建設する先頭に立つべき知事が、5/15「沖縄の日本復帰50年記念」を政府と県が天皇の参加の下共催すると発表した。敗戦間近かに近衛の「敗戦認める上奏」に「あと一撃してから」と戦争を継続し、結果沖縄地上戦、広島、長崎への原爆と都市大空襲を日本民衆に食らわせた。敗戦後も米国に「沖縄メッセージ」で占領継続を提言した天皇の犯罪が謝罪も補償もない中で、また問答無用とばかり沖縄に日米安保の負担を強要する政府と「復帰50年」で同席するなどありえない。

沖縄は今、敗北的後退の中から戦略的反撃を準備する作業に取り掛かっています。その柱は「反安保・沖縄闘争」の再建です。

今年の4.28は講和条約締結70周年です。第3条で日本から分離して米国の施政権下に置かれた日で「沖縄屈辱の日」と言われている。

同時に講和条約第五条で「日本の再軍備と個別的・集団的自衛権の確保」が推奨され、これを根拠に日米安保条約が結ばれ、この日米安保にも日本の再軍備が強く要請され今日の軍拡と改憲に連なっていることを想起す必要があります。日米地位協定が沖縄闘争の「壁」に見えていますがこれは日米安保の補足協定であり、本隊は日米安保条約であり、これを保守している自公政権・日本政府の打倒です。

琉球遺骨返還請求訴訟

判決及び報告集会

判決 2022年4月21日(木)14:30

京都地方裁判所大法廷

報告集会 2022年4月21日(木)18:00

龍谷大学響都ホール(京都駅南アバンティ9階)